



9月18日から9月24日までの7日間 高齢者交通死亡事故多発警報 発令！

山口県内では、9月9日から17日までの9日間に、高齢者が関与する交通死亡事故が5件発生したことから、9月18日、交通安全山口県対策協議会長名をもって**高齢者交通死亡事故多発警報**が発令されました。

例年、9月から年末までの間は交通事故が多発する傾向にあり、特に、日没が早まるこれから、薄暮時、夜間の外出には注意が必要です。道路を利用する一人ひとりが、交通ルールとマナーを守って「交通事故を起こさない、交通事故に遭わない」ようにしましょう！

《5件の交通死亡事故》

発生日時・場所	事故概要(カッコ内は運転者等の年代と性別)
9月 9日(月) 15時54分ころ 熊毛郡田布施町 町道上	軽四乗用車(30歳代・女性)単独 同乗者(90歳代・男性)
9月12日(木) 7時00分ころ 下関市東観音町 県道上	軽四貨物車(70歳代・男性) × 歩行者(70歳代・女性)
9月16日(月) 22時38分ころ 山口市大内長野 国道262号上	普通乗用車(30歳代・男性) × 自転車(80歳代・男性)
9月17日(火) 9時10分ころ 美祢市大嶺町 国道435号上	原付車(80歳代・男性) 単独
9月17日(火) 11時03分ころ 下関市長府中六波町 市道上	自転車(90歳代・男性) 単独

高齢者の交通事故を防ぐために

○ 高齢者の方は・・・

視力や運動能力の低下等、自分の身体能力を知り、それに合わせたゆとりのある行動をとり、無理をせず交通ルールをしっかりと守りましょう。

夜間、歩いて外出する場合には、白っぽい色の目立つ服装、反射材を利用するなど、運転者からよく見えるようにしましょう。

○ ドライバーの方は・・・

高齢者を見かけたら、不意な行動を予測して一時停止や徐行、また、高齢運転者標識表示車両には、思いやりの気持ちをもって保護に徹した運転をしましょう。

夜間、運転する際は、歩行者や対向車等に車の接近を知らせるためにも、早めにライトを点灯し、点灯後は、道路状況に応じたこまめに切り替えをしましょう。

